

## 【解説文】「異学年集団による学び合い支援事業」対象市町決定！ 第1回目の授業実施

このたび 「異学年集団による学び合い支援事業」の対象市町が決定し、推進校における授業が明日4月28日(火曜日)から実施されますのでお知らせします。

今回開始する「異学年集団による学び合い支援事業」は、義務教育段階において、学年の枠を超えた児童生徒同士の学び合いを通じて、自己肯定感や自己有用感、コミュニケーション能力といった非認知能力、併せて、知識・技能、思考・判断・表現力といった認知能力を伸ばしていくことを目的としています。

県教育委員会では、本事業に計画的に取り組む市町村教育委員会を支援することとしており、今年度は、岐阜市、羽島郡二町、北方町、池田町の4教育委員会、計5校を推進校として決定しました。今後、各学校に おける実践を通して、取組の充実と成果の普及を図っていきます。

そして今回、第1回目となる授業を、北方町立南学園で実施します。

同学園では、複数学年で編成された少人数のグループにより、算数、数学及び国語の基礎的・基本的な内容を中心とした学習プリントを用いた学び合いが行われ、児童生徒の皆さんが、自ら学習内容を選択し、どの 学年の内容からでも取り組むことができるように工夫された授業が行われていきます。

今回対象となった市町の教育委員会においては、自治体や学校の実態に応じて、今後計画的に取り組まれていきます。「異学年集団による学び合い」が、一つの教育活動のモデルとして、県内に広く展開していくことを期待しています。